木更津工業高等専門学校	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	美術

科目基礎情報

科目番号	0014	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	電子制御工学科	対象学年	1
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	高校美術１（日本文教出版）		
担当教員	坂田 洋満		

到達目標

（１）課題に強い興味・関心を持ち、創意工夫し計画的に製作に取り組める。
（２）独創的で豊かな発想をし、それを表現する方法を理解し、効果的に表現できる。
（３）作者の心情や表現の工夫を感じ取るとともに、お互いの作品を鑑賞し、いろいろな見方や感じ方を広げることができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	実技作品を仕上げて期限内に提出	実技作品を学期内に提出	実技作品の未提出
評価項目2	作品の内容に独創的な創意工夫がある	作品の内容に創意工夫をしようとしている	作品の内容に創意工夫があまり見られない
評価項目3	作品鑑賞に積極的に取り組み自分の意見を述べることができる	作品鑑賞にまじめに取り組む	作品鑑賞の態度に前向きさがない

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	美術作品の制作および゛鑑賞を通し、美術へ関心を持ち、自身の表現を創意工夫し探究する力を身につける。創作活動と鑑賞を通して芸術に対する感受性を育む。
授業の進め方・方法	制作および゛鑑賞にあたって、関心や意欲を引き出す教材として、教科書や参考作品を活用する。またそれらから画材や道具の基本的な使い方や応用の仕方を学ぶ。
注意点	作品づくりのプロセスをよく理解し、教科書・参考作品をヒントにし、自己の表現に活かす心構えを持つこと。真摯な態度で授業に取り組むこと。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	ガイダンス	美術学習の意義について理解する
		2週	グラデーション制作	白黒の色の幅を追求する
		3週	写生-石膏像	グラデーション制作の基礎を用いて立体及び空間を表現する
		4週	写生-人物画（１）	自画像を描く。似せることに拘らず自分なりの表現をする。鉛筆の色の幅を使い、表現する。
		5週	写生-人物画（２）	自画像を描く。似せることに拘らず自分なりの表現をする。鉛筆の色の幅を使い、表現する。
		6週	写生-人物画（３）	人物像を描く。似せることに拘らず自分なりの表現をする。鉛筆の色の幅を使い、表現する。
		7週	写生-人物画（４）	人物像を描く。似せることに拘らず自分なりの表現をする。鉛筆の色の幅を使い、表現する。
		8週	デザイン-色面構成（１）	下絵を作成する。抽象的な物やイメージによる構成を通して創造性を養う。限られた色による調和の取れた色面構成。
	4thQ	9週	デザイン-色面構成（２）	下絵を作成する。抽象的な物やイメージによる構成を通して創造性を養う。限られた色による調和の取れた色面構成。
		10週	デザイン-色面構成（３）	下絵を作成する。抽象的な物やイメージによる構成を通して創造性を養う。限られた色による調和の取れた色面構成。
		11週	デザイン-色面構成（４）	下絵を作成する。抽象的な物やイメージによる構成を通して創造性を養う。限られた色による調和の取れた色面構成。
		12週	写生-風景画（１）	身近な風景に美を見いだす。
		13週	写生-風景画（２）	身近な風景に美を見いだす。
		14週	版画制作	凹版画づくりのプロセスを理解し、その特徴を十分に活かす。
		15週	講評会	相互の作品について理解を深める。
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	60	140	0	200
基礎的能力	0	0	0	30	70	0	100
専門的能力	0	0	0	30	70	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0